

# 水害発生時の災害ボランティア活動の手引き

- ・この手引きは、被災した家屋復旧に向けた一般的な手順の中で、ボランティア活動の留意事項を示したものです。
- ・災害ボランティアの活動は、被災者が家屋の復旧を行うにあたり、自らまたは家族等で行うことが困難な場合に、被災者の依頼に基づき、家具の移動、ごみ・泥だし、清掃などを行います。
- ・専門的な技術や知識、経験を必要とする作業を依頼された場合は、建築業者に相談するよう被災者にお伝えください。また、災害ボランティアセンターが、技術系ボランティア（団体）と連携して被災者支援活動に取り組むことがありますので、協力しながら活動することをお願いします。
- ・対応が困難であったり判断に迷う場合は、無理に進めずに、災害ボランティアセンターに相談しながら活動してください。

## 1 災害ボランティアの心得

- 災害ボランティア活動は、支援を求める被災者のニーズと支援者の熱い思いによって成り立っています。
- 作業の一つ一つを被災者である家屋の所有者（ボランティアによる作業の被災者）に十分確認するなどコミュニケーションを取りながら被災者の気持ちに寄り添って、活動を行きましょう。
- 何気ない言葉や行動が、被災者の心を傷つけてしまうことがあります。泥水などで汚れてしまったものでも、被災者にとっては大切なものかもしれません。割れた皿などが散乱した家屋内に土足で入る際には一言断るなど、被災者への配慮を忘れないようにしましょう。
- 被災家屋内や周辺で記念撮影したり、写真や個人情報をSNSに投稿したりしないようにしましょう。

## 2 災害ボランティア活動の手引き

- 家屋復旧の一般的な手順や各段階における作業の内容及びボランティア活動で留意すべき点などは以下のとおりです。

### （1）災害ボランティア活動で望ましい服装と装備

- ・水害時の泥出し、掃除などの活動にあたっては、以下のものを用意し、ボランティア活動に参加してください。

### 【主な服装と装備】

帽子又はヘルメット、ゴーグル、防じんマスク、ゴム手袋、長袖、長ズボン、長靴、踏み抜き防止のインソール（中敷）、雨具、着替え、タオルや手拭い、名札、水（夏場は2ℓ以上）、塩飴などの塩分、応急セット

### （2）災害ボランティアセンターへの連絡

- ・活動中の対応や判断に困るような事案があれば、災害ボランティアセンターに連絡をし、指示を仰いでください。
- ・活動終了後は、依頼された内容が「完了」したのか「継続」かを被災者に確認してください。また、災害ボランティアセンターの報告形式に従って報告してください。

### （3）安全の確保

- ・活動は安全第一で進めてください。活動中に体調が悪くなった方、けがをした方は、直ちに活動を中断し、災害ボランティアセンターに報告をしてください。
- ・休憩をこまめにとってください。45分に1回、夏場は熱中症予防のため、20分に1回を目安とし、活動内容や気候に合わせて休憩を取ってください。

### （4）手順

#### ①被災状況の確認・記録

- ・被災者は、罹災証明書や保険金の請求等に必要となる場合があるため、住宅の浸水位置など被害の様子がわかる写真を撮る必要があります。撮られていない場合は、その旨お伝えください。

#### 【参考：写真の撮り方】

- ・できるだけ被災家屋の4方向から写真を撮影する
- ・浸水した高さがわかるように撮影する
- ・屋外の自動車、物置などや、室内の住宅設備、家電なども撮影する（家財に対する保険用）

- ・家屋が一度でも浸水したら、床下に泥が入り込んでいないかを、また、床上浸水だった場合は、壁や天井も含めて被災者において確認していただく必要があります。

#### 【参考：確認方法】

点検口や床下収納の間口、通風口などから床下等を確認

- ・必要に応じて、床下、壁、天井の状況や復旧までの手順等を建築業者など専門的な知識や経験を有する方に確認していただくよう被災者にお伝えください。

## ②復旧までの手順の整理

- ・被災者が復旧までの手順の整理ができていない場合は、必要に応じて、別紙チェックリストをお渡しください。
- ・活動は、依頼内容を確認してから開始してください。

## ③家財（家具・家電等）の搬出

- ・家屋内での活動を行うため、被災者の意向を確認しながら、家財の搬出を行います。
- ・家財や家屋に傷をつけないよう注意のうえ活動を行ってください。
- ・現場で、ブルーシートや養生テープを調達できる場合は、家財や家屋の養生を行ってください。調達できない場合は、災害ボランティアセンターに相談し、被災者の意向を確認しながら活動を行ってください。

### 【参考：養生が必要な箇所】

- ・家財のある部屋から玄関（または出口）までの通路や壁など（はがす予定の壁は養生不要）
  - ・搬出の動線上にあるもので、除けることができないもの・汚れて困るもの
  - ・泥出し等の作業を行う部屋で、搬出しない家財がある場合はその家財
- ・家財は、被災者に確認し、以下の点を参考に分別してください。
    - i そのまま使用できるもの
    - ii 乾燥させて使用できるもの
    - iii 処分するもの
  - ・家財を廃棄する場合には、自治体の分別方法を被災者に確認してから廃棄場所（仮置き場を含む）に運んでください。

## ④床板・壁はがし

- ・床下の泥出しや壁内部の浸水に対応するため、必要により、床板・壁はがしを行います。
- ・被災者から床板や壁はがしを依頼された場合は、専門的な技術や知識が必要となり、安全管理も他の作業と比べ多くのことが求められる場合があるため、建築業者など専門的な知識や経験を有する方に対応を相談するようお伝えください。

- ・浸水した床や壁を放置すると、カビなどが発生し、悪臭のもとになるため注意するよう、被災者にお伝えください。特に水を含んだ断熱材がある場合は、早めの撤去が必要です。

【参考：根太（ねだ）・壁の養生】

- ・根太は、床をはがした後に出てくる格子状の木材で、家の基礎部分であり、根太を土のう袋で巻き、養生テープで止めてください。
- ・壁をブルーシートで覆い、養生テープで固定してください。

## ⑤床下の泥出し・清掃

- ・床下に水や泥などが入っていた場合、これを除去します。まず水を除去してから泥を取り除いてください。

【参考：床下の泥出し】

- ・束（つか）、束石（つかいし）の泥は必ず除去してください。  
（束と束石は家の重要な基礎部分です。ここに泥や水分が残っていると水を吸い上げ、基礎部分から家全体が傷む原因になります。）

【参考：家の基礎部分の清掃】

- ・泥出しを終えた後、根太が乾ききってから、乾いたタワシ・ブラシなどで根太、大引きについた泥を木目に沿って払い落としてください。裏側に泥や木くず等がついていることが多いため、忘れず落としてください。  
（束・束石と同様、根太・大引きは家の基礎で重要な部分です。ここに泥や木くず等が残っているとカビの原因になるだけでなく、白アリ、キクイムシの発生しやすい環境となります。）

- ・床下が暗く、非常に狭い中での活動の場合は、災害ボランティアセンターの指示に従ってください。

## ⑥カビ落とし、消毒、乾燥

- ・泥出しや清掃が終わってから、カビ落としや消毒を行ったうえで、乾燥を行います。
- ・被災者から、カビ落とし、消毒、乾燥を依頼された場合は、専門家の指示を受けたのかどうかを確認のうえ、受けている場合は被災者の意向に従って活動を行ってください。

【参考：水害時の感染対策における衛生・消毒マニュアル（県保健医療課作成予定）】

## ⑦片付け及び掃除

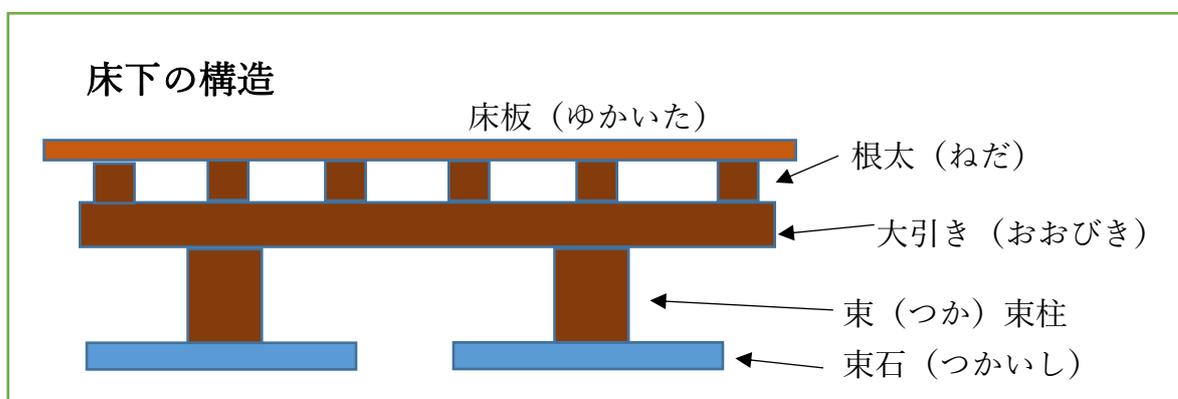
- ・窓拭き、外壁洗い、庭掃除など被災者の意向に基づき活動を行ってください。

## ⑧家財の搬入

- ・家財や家屋に傷をつけないよう注意のうえ活動を行ってください。

### <参考>

- ・根 太：床を支える補強部材。床の安全性、居住性を高める目的で設置する。
- ・大引き：床板および根太を支える横材。
- ・束（床束）：床を支える短い柱。
- ・束 石：束を載せるための石。コンクリートブロックを使用する場合もある。  
床下（基礎部分）に一定間隔で配置される。



## 被災者による家屋復旧に向けた作業チェックリスト

氏名：

NO	チェック ✓	日付	項目	メモ
1	<input type="checkbox"/>	/	被災状況の確認・記録 ①被害の様子がわかる写真を撮影 (家屋、家財)	
	<input type="checkbox"/>	/	②床下、壁、天井の状況	
	<input type="checkbox"/>	/	③建築業者などへの依頼	
2	<input type="checkbox"/>	/	復旧までの手順の整理 ④復旧までの手順の整理	
3	<input type="checkbox"/>	/	家財(家具・家電等)の搬出 ⑤家財や家屋の養生	
	<input type="checkbox"/>	/	⑥家財を分別した上で搬出	
	<input type="checkbox"/>	/	⑦家財(処分するもの)を廃棄	
4	<input type="checkbox"/>	/	床板・壁はがし ⑧建築業者などに対応を依頼	
5	<input type="checkbox"/>	/	床下の泥出し・清掃 ⑨床下の泥出し・清掃	
6	<input type="checkbox"/>	/	カビ落とし、消毒、乾燥 ⑩床、壁などの消毒	
	<input type="checkbox"/>	/	⑪消毒後、十分に乾燥(最低1か月)	
7	<input type="checkbox"/>	/	片付け及び清掃 ⑫窓拭き、外壁洗い、庭掃除等を実施	
8	<input type="checkbox"/>	/	家財の搬入 ⑬家財を搬入	

※作業が完了したら口に✓と、完了した日付を記入してください。